

4 骨粗しょう症検診

1 概要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

3] 事後指導

骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣等について、保健師による個別指導を実施した。

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	2 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	20～24歳	3 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)
	25～29歳	9 (66.7)	3 (33.3)	0 (0.0)
	30～34歳	6 (50.0)	3 (50.0)	0 (0.0)
	35～39歳	7 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)
	40～44歳	9 (55.6)	1 (11.1)	3 (33.3)
	45～49歳	8 (62.5)	2 (25.0)	1 (12.5)
	50～54歳	13 (23.1)	5 (38.5)	5 (38.5)
	55～59歳	10 (10.0)	5 (50.0)	4 (40.0)
	60歳以上	18 (16.7)	10 (55.6)	5 (27.8)
計	85 (40.0)	32 (37.6)	19 (22.4)	
女	19歳以下	-	-	-
	20～24歳	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	25～29歳	12 (66.7)	4 (33.3)	0 (0.0)
	30～34歳	11 (63.6)	4 (36.4)	0 (0.0)
	35～39歳	10 (60.0)	4 (40.0)	0 (0.0)
	40～44歳	23 (87.0)	3 (13.0)	0 (0.0)
	45～49歳	29 (86.2)	4 (13.8)	0 (0.0)
	50～54歳	39 (64.1)	9 (23.1)	5 (12.8)
	55～59歳	43 (27.9)	24 (55.8)	7 (16.3)
	60歳以上	71 (31.0)	37 (52.1)	12 (16.9)
計	239 (52.7)	89 (37.2)	24 (10.0)	
総 数	324 (49.4)	121 (37.3)	43 (13.3)	